

ISK経営塾65期 講義キーワード

第2回

2004年12月20日(月)

◆前回講義キーワード

- 小手先の技だけではビジネスで勝つことはできない。心が練れてこそ技が活きる。
- 常にチャレンジを続ける。挑戦する心が成長を生む。
- セルフコントロールできることと、できないものがあることを認識し、できないことは気にかけず、自分ができる精一杯のことを行う。
- 価値創造と顧客創造のできない人は客にも会社にも役にたてず、現代では勝つことはできない。
- 人と同じことをやっても勝てない。他人との違い、 $+ \alpha$ の価値を持つことが重要である。
- 幹部は問題処理をするためにいるのではない。未来への構想力を持った幹部となろう。
- 3つの暗示法を繰り返し、夢・あるべき姿と一体一如となる。

- まずは想う事、意志を入れることが大切である。想いを強く持ち、すぐに諦めずに思い続けることで実現する。
- 何故5回を繰り返し、物事を細分化・単純化することで真因を見つけ出す習慣を身につける。
- 無から有を産み出すのが勝てるビジネスである。
- できる・できると思って行動を起こす。行動が自信を生む。
- 「くだらない」と思うことは自分がくだらなくしているだけ。やり抜けばどんな物事もくだらなくない。
- 分析からは何も生まれない。やらない言い訳しか出てこない。まずは腹を決める。腹を決めればやる方法はいくらかでも見えてくる。
- 千里の道も一歩から。一歩が千歩に通じる。まずは一歩踏み出す勇気を持つ。

- 人間は感じるから動く、動くから感じる。これの繰り返しである。
- 自分自身が過剰反応をしているだけで、他人の目を気にすることはムダである。
- 他人がやってもできることは任せてしまう。自分は自分にしかできない、一段上の仕事を行う。
- 作業は60点の出来でいいから、部下に任す。任せることが部下の成長になり、会社の成長にもなる。
- 常識どおりということは、多くの人と同じことをすることであり、同じことをして勝てるはずがない。
- 自分の夢に納期をつける。「いつか」というのは「やらない」と言っているのと同じである。